

## 1 出資法人等の概要

団体名	一般財団法人豊中市医療保健センター		
所在地	豊中市上野坂2丁目6番1号	所管部局・課	健康医療部 保健安全課
設立年月日	昭和49年3月27日	代表者	理事長 野村 晋
資本金等	10,000,000円	うち市出資額(率)	5,000,000円(50.0%)
設立目的	豊中市医師会、豊中市歯科医師会、豊中市薬剤師会及び豊中市の連携に基づき、豊中市の地域医療体制を確立し、もって地域住民の健康の維持及び福祉の充実を図り、公益の増進に寄与することを目的とする。		

## 2 役員・職員関係

各年4月1日現在

		R4			R5			R6		
		市職員	市OB		市職員	市OB		市職員	市OB	
役員	常勤	1	0	1	1	0	0	0	0	0
	非常勤	11	5	0	10	3	0	12	3	1
職員	常勤	9	0	0	8	0	0	9	0	0
	非常勤	83	0	1	79	0	1	82	0	0
役員の平均年間報酬 (R5年度、千円) ※常勤のみ		*			職員の平均年間給与 (R54年度、千円)・平均年齢 ※常勤のみ			7,407千円・47.6歳		

## 3 財務関係

		金額(千円)		
		R3	R4	R5
損益計算書	総収入	487,373	562,485	532,782
	(うち市受入金)	354,430	485,036	330,688
	総費用	455,193	428,289	463,220
	経常損益	45,004	6,536	64,586
	当期損益	32,180	134,196	69,562

		金額(千円)		
		R3	R4	R5
貸借対照表	資産の部合計	701,324	800,580	907,897
	負債の部合計	438,981	404,040	418,051
	(うち有利子負債)	0	0	0
	純資産	262,343	396,540	489,847
	利益剰余金	259,343	393,540	486,847

4 市の財政的関与の状況

(単位：千円)

		R3	R4	R5	主な内容、算出根拠等
フロー	補助金	—	—	—	
	事業費	—	—	—	
	運営費	—	—	—	
	委託料	93,221	12,443	5,942	二重読影会事業他
	指定管理委託料	—	—	—	
	その他	261,209	472,703	324,746	
計		354,430	485,146	330,688	
ストック	貸付金残高	250,000	250,000	250,000	
	債務保証残高	0	0	0	
	損失補償残高	0	0	0	
	出資金				
	その他	5,000	5,000	5,000	出捐金 5,000 千円のうち、1,500 千円が基本財産
計		251,500	251,500	251,500	

5 経営の状況

(1) 出資法人等の主な事業

事業名	事業内容	活動指標	R3	R4	R5
休日等急病診療事業	休日等における豊中市内の初期救急医療機関として、内科・小児科・歯科の診療を行う。	受診者数	2,309 人	2,550 人	6,619 人
障害者歯科診療事業	心身に障害があり、一般の歯科医院での治療が困難な患者を対象に歯科診療を行う。	受診者数	1,665 人	1,610 人	1,533 人
在宅ねたきり者等訪問歯科診療事業	在宅でねたきりの状態にあり、歯科医院への通院が困難な患者を対象に、居宅に訪問して歯科診療を行う。	受診者数	195 人	206 人	217 人
福祉・保健施設訪問歯科診療事業	豊中市内の福祉・保健施設に入所しながら歯科診療を必要とする患者を対象に、訪問歯科診療を行う。	受診者数	1,052 人	951 人	971 人
障害者(児)健診等事業	豊中市内の障害福祉サービス事業所の利用者を対象に、事業所単位で健康診査等を実施する。	受診者数等	—	105 人	215 人
大阪国際空港メディカルクリニック事業	大阪国際空港内に診療所を開設し、空港内従業員、空港利用者及び地域住民等に診療、健康診断、予防接種等を実施する。	受診者数等	—	—	9,142 人
		一般診療	—	—	1,554 人
		予防接種等	—	—	2,964 人
		健康診断	—	—	413 人
		健康診断(委託分)	—	—	4,211 人

(2) 財務指標

指標	視点	内容	R3	R4	R5
市受入金比率 市受入金/経常収益×100	自立性	市への財政的依存度を表わします。一般的に数値が低いほど、財政的に自立性が高いといえます。	73.6%	131.6%	62.7%
人件費比率(%) 人件費/経常費用×100	効率性	数値が低いほど財務の弾力性が高いといえます。総支出における相談業務等のマンパワーが業務の中心となる団体については高くなる傾向にあります。	39.4%	45.0%	38.4%
管理費比率(%) 管理費/経常費用×100	効率性	コスト体質を表すもので、一般的に数値が低いほど効率が良いとされます。	26.7%	32.0%	19.4%
正味財産比率(%) 正味財産合計/(負債+正味財産合計)×100	安全性	負債及び正味財産合計に対する正味財産合計の割合。自己資本の比率が高いほど資本構成が良く、経営の安全性が高いといえます。	37.4%	49.5%	54.0%
固定比率(%) 固定資産/正味財産合計×100	安全性	正味財産合計に対する固定資産の割合。固定資産を返済不要な正味財産合計でまかなわれているかを表わします。100%未満であれば安全性が高いといえます。長期的な経営の安全性を示しています。	198.0%	118.7%	142.0%

流動比率 (%) 流動資産/流動負債×100	安全性	1年以内に返済を要する負債に対する1年以内に資金化できる資産の割合。数値が高いほど支払い能力が高いといえます。100%を下回る場合は注意が必要です。	234.0%	1340.7%	542.4%
---------------------------	-----	--	--------	---------	--------

### (3) その他

#### ア 給与体系

区分	<input type="checkbox"/> 独自体系 <input checked="" type="checkbox"/> 市の体系を準用 <input type="checkbox"/> その他 ( )
見直し予定	<input type="checkbox"/> 予定あり ( 年度予定) <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 済み (●年●月)

#### イ 情報公開

公開ツール	<input type="checkbox"/> ホームページ (URL: <a href="https://tmhc.or.jp">https://tmhc.or.jp</a> ) <input type="checkbox"/> 広報紙 <input checked="" type="checkbox"/> 事務所備え付け <input type="checkbox"/> その他 ( )
公開内容	<input checked="" type="checkbox"/> 定款 <input type="checkbox"/> 役員名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画 <input checked="" type="checkbox"/> 事業報告 <input type="checkbox"/> 経営計画 <input checked="" type="checkbox"/> 財務諸表

#### ウ 指定管理者の状況

施設名	指定管理期間	備考

## 6 経営上の課題

- 地域医療におけるセーフティネットの役割を担う体制の維持に必要な、安定した財源の維持
- 組織の自律的なマネジメントを維持するための次世代を担う人材の確保
- 実施事業の改廃及び新規事業の開拓など、新たな収益機会の確保

## 7 経営改革の取り組み (令和5年度)

項目	取り組み内容	今後の課題・方向性
経営改善への取り組み	令和5年度から事業を継承した大阪国際空港メディカルクリニックの経営に関して、「大阪国際空港メディカルクリニック経営方針」(令和5年3月策定)に基づき、当法人の事業検討委員会に作業部会を設置し、現状把握、課題の抽出、今後の取り組み内容等の検討を重ね、令和6年度から令和10年度を計画期間とする「大阪国際空港メディカルクリニック経営改革実施プラン」(「実施プラン」)を策定しました。	「実施プラン」に基づく具体的な取組みによる目標達成をめざし、職員が情報共有し、主体的に取り組めるよう進行管理をしていきます。 効果的な集患策を重要としているため、空港内従業員の受診促進に資するよう診療時間の見直しや市立豊中病院と連携した生活習慣病外来を開始するなど、かかりつけ医機能の強化に重点的に取り組みます。
事業・業務の見直し	将来的な法人の幹部候補となる人材としての常勤職員を募集し、令和6年4月採用予定者1名を確保することができました。法人内での情報共有やコミュニケーション活性化、各種業務に係るICT化、DX化の取り組みを推進するため、課を超えた「情報・システム管理チーム」を設置し、通信環境の整備・維持やグループウェアの導入等に係る作業を始めました。	人材育成に関しては、法人の「人材育成基本方針」に則り、職階に応じた育成、個人の能力開発に資する法人内外での研修計画の策定に取り組みます。 ICT化、DX化の取組みに関しては、「情報・システム管理チーム」を中心に導入の目的に適うシステムの選定及び環境の整備を行います。あわせて、年度内に契約期間満了を迎える予算管理・会計システム及び給

	<p>診療所事業においては、補助金の活用により、効率的にオンライン資格確認の導入を終えました。また、改修工事を行い、診療所施設の拡充を図るとともに、より衛生的かつ患者の利便性の向上に資する施設としました。大規模災害発生時の応急救護所の設置場所となることを想定した訓練に参加しました。</p>	<p>与システムの選定を進めます。</p> <p>休日等急病診療においては、医科におけるWeb問診の導入を検討し、受診者のさらなる利便性の向上に努めます。診療報酬のオンライン請求義務化に対応すべく、必要な機器、回線の整備を行います。大阪国際空港メディカルクリニックもあわせて、将来的には電子カルテの導入の検討を行います。</p> <p>診療所施設の拡充により増設された診察室等を活用した、さらなる効果的な事業展開を進めていきます。</p>
<p>収益の確保</p>	<p>大阪国際空港メディカルクリニックの運営に係る「実施プラン」に掲げた取組みについては、実施期間に関わらず、ホームページのリニューアル、PRチラシの配架、空港内テナントへのメーリングリストによる案内など集患策として有用であると考えられることはできるところから着手しています。</p> <p>休日等急病診療事業においては、患者数がコロナ禍前の水準に回復し、患者の待合スペースの分離などの感染防止対策を講じながら患者を受け入れ、事業収益も回復しました。一方で、これまで以上に検査のニーズが増加し、検査キットなどの診療材料費の増額や一部の医薬品の出荷調整といったこれまでにはみられなかった事象にも適切に対応いたしました。</p> <p>障害者（児）健診等事業は2年度目となりますが、健康診査以外にインフルエンザの予防接種も実施し、対象者の健康の維持増進を図りました。</p>	<p>診療所事業、とりわけ大阪国際空港メディカルクリニックに関しては、これまで当法人が培ってきた休日等の急病診療の運営ノウハウとは異なり、かかりつけ医として継続的な医療サービスを提供する医療機関の運営ノウハウが求められることから、医業経営コンサルタント等の助言を得ながら、こうしたノウハウを効率的に取得するとともに、診療報酬の改定に対応するため、施設基準の届出等必要な準備を行います。</p> <p>障害者（児）健診等事業についても、事業所への実施案内を早期に行い、健診実施日までの十分な準備期間を設けるとともに、より多くの事業所へ情報発信することで、受診者を確保し、安定した運営ができるよう努めます。</p>

## 8 出資法人等の自己評価

評価の視点	評価	今後の取り組み方針
<p><b>必要性</b> ・実施事業は、社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか</p>	<p>診療所の各事業は、豊中市域における休日の初期救急医療機関として、また、一般の医療機関での歯科治療及び通院、健康診査の受診が困難な人のセーフティネットとして、より充実が求められる状況となっています。</p> <p>また、これまで蓄積したノウハウを活用し、新興感染症への対応、三師会との協力、連携により、災害時の応急救護活動への協力等、行政からの要請にも迅速かつ適切に応じる必要からより重要性が増すと考えます。</p>	<p>診療所の各事業においては、今後も患者数の動向に応じた適切な診療体制の確保等、効果的に医療を提供します。</p> <p>また、当法人の設立趣旨に則り、市民ニーズに合致した事業の企画調整にも取り組みます。</p>
<p><b>効率性</b> ・人的・物的な経営資源は有効に活用しているか ・組織体制、人事給与水準は適正か</p>	<p>業務内容の精査を行い、適切な職員配置に努め、効率的かつ効果的な事業運営に取り組んでいます。豊中市保健所へ研修派遣した職員は、研修中に関わった市民、職員、事業者等を通じて、より幅広い視点を持ち、課題対応力の向上がみられたと考えます。</p> <p>中・長期的な観点から法人の幹部候補となりうる人材の確保に取り組み、令和6年4月1日付で、社会人経験のある職員を1名採用することができました。</p> <p>人事給与制度につきましては、経営環境を踏まえながら、物価上昇等に対応した給与水準の見直しを図りました。</p>	<p>引き続き、収益の確保、諸経費の節減に取り組み、より効率的な業務フローを検討し、資源や施設の利用に努めます。</p> <p>当法人の規模に応じた組織体制や人事制度の構築をめざし、適正な人事給与水準についての精査を含め検討してまいります。</p>
<p><b>有効性</b> ・意図する成果に有効に結びついているか</p>	<p>設立の背景から、医師会、歯科医師会及び薬剤師会と有効に事業連携ができており、休日における初期救急医療機関としての役割はもとより、障害のある人、在宅でねたきり等の状態にある人の心身及び口腔の健康の維持及び向上に資する役割を果たしています。</p> <p>三師会、市との連携により災害時における応急救護活動の拠点となることや新興感染症発生時における発熱外来等の機能を担うことで、地域のセーフティネットとしての役割を果たすことが想定され、ますます重要となっています。</p>	<p>三師会、市との連携を一層強化し地域医療の拠点の一つとして機能を高めてまいります。</p>
<p><b>総合評価</b></p>	<p>施設内に三師会の事務所があり、それぞれの意思決定の拠点となっていることから、行政と地域医療との連携に大きな役割を果たしています。事業実施につきましては、自己の施設、独自のノウハウ及びネットワークを活かし、安定的な体制を維持するとともに効率的な高いサービス水準を維持しています。</p> <p>また、大阪国際空港メディカルクリニックの事業については、事業開始初年度を終えましたが、経営改革実施プランを策定することで、空港内従業員、空港利用者及び地域住民それぞれの健康の維持、増進に資する関わり方、取り組みの方向性及び安定的な運営のための収支目標を明確にし、戦略的に取り組む基礎作りを行いました。</p>	<p>集中豪雨等による自然災害が頻発し、また大規模災害や新たな感染症が発生することも想定される状況にあつて、地域医療の確立が支える医療分野におけるセーフティネット機能に対する市民の期待は、今後も増大することが見込まれます。</p> <p>一方で、人件費や物価の高騰、診療報酬のオンライン請求移行への対応、医療機関を狙ったサイバー攻撃等様々な外的要因に対応する必要もあり、経営基盤の一層の安定が必要となります。</p> <p>このため、これらの課題に対処できるよう人材の育成に取り組むとともに、大阪国際空港メディカルクリニックや障害者（児）健診等事業の安定的な運営による収益確保に努めます。</p>

9 市による評価

評価の視点	評価内容	課題・方向性
<p>団体の存在意義 (必要性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出資目的は薄れていないか</li> <li>・ 市の施策の方向性に適合しているか</li> </ul>	<p>診療所の各事業は、豊中市の地域医療体制を確立し、地域住民の健康を維持する目的を踏まえ、豊中市域における休日の初期救急医療機関として、また、一般の歯科医院での治療または通院が困難な患者のセーフティネットとして、市民の健康を守るものとして重要です。</p> <p>また、有事の際には、緊急の応急救護所としての運用も期待され、また令和5年度に診療所部分が改修されたこともあり、より一層、重要な医療機関として位置付けられるものとなっております。</p>	<p>休日等急病診療事業においてコロナ前の受診者数をほぼ回復したこともあり、自立性を高めたくうえで、豊中市の地域医療に寄与されています。</p> <p>公共性の高い事業を自主事業を運営しながら、令和5年度に事業統合した空港メディカルクリニックについて黒字化を見据えた経営計画を策定するなどされていますので、より充実した事業運営を引き続き行っていただきたいと思ひます。</p>
<p>団体の活動領域 (効率性・有効性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出資法人等を活用するメリットはあるか</li> <li>・ 出資法人等にしかできないことか</li> </ul>	<p>施設内に三師会の事務局があることにより、地域住民の健康及び福祉の増進に寄与するための連携拠点となっております。</p> <p>また、医療と介護、福祉をつなぐ連携拠点としての機能も併せもって活動を行っており、自身のメリットを活かしながら事業を行っていると考えます。</p>	<p>今後も、三師会の事務局が施設内にあるメリットを活かし、地域住民の健康及び福祉の増進に寄与する連携拠点として、医療と介護福祉をつなぐ連携拠点として、活動を進めてもらいたいと思ひます。</p> <p>空港メディカルクリニックとの事業統合の効果を最大限に発揮できるよう、これまでの事業の安定的継続はもちろん、更なる新規事業の開拓に向けた検討も引き続き行っていただきたいと思ひます。</p>
<p>団体と市との関係性 (効率性・有効性)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の成果が市の施策の推進にどれだけ貢献しているか</li> <li>・ 市の関与は適切か</li> </ul>	<p>休日等急病診療、障害者(児)歯科診療事業、別館での「医療・介護・福祉の人材育成」事業など、公共性の高い事業を推進することにより地域住民の健康を守り、第4次豊中市総合計画における「安全に安心して暮らせるまちづくり」の推進に寄与していると考えます。</p>	<p>引き続き、第4次豊中市総合計画における「安全に安心して暮らせるまちづくり」に寄与できるように、休日等急病診療、障害者(児)歯科診療事業、障害者(児)健診事業に加え、空港メディカルクリニックの更なる充実を図ってもらいたいと思ひます。</p>
<p>総合評価</p>	<p>豊中市と三師会の出資による法人として、各々と協力しながら地域住民の健康と福祉を増進するために重要な事業を行っていることについて評価します。</p>	<p>豊中市と三師会の出資による法人としてのメリットを活かし、今後も相互に連携を図りながら現行の事業の効率化に加え、他に何か自分たちにできることはないかを考えて自主事業の開拓を進めてもらいたいと思ひます。</p> <p>空港メディカルクリニックの早期黒字化のためにも、人員配置を含めた適切なリソース配分が必要です。公益性が高い一方で収益性が高いとはいえない事業が多く、収入確保が課題ではありますが、収入の安定化が事業の拡大、ひいては地域医療推進に寄与することから収入の確保に努めてもらいたいと考えます。</p>